

令和6年度教師の目標  
**未来に輝く、ホンモノを創り出す**


学校の存在価値

- 公教育の立場を踏まえて
  - 全体の奉仕者としての自覚と責任感、使命感を持つ。
- 時代の要請に応える、新しい学校教育の創造を
  - OECD ラーニング・コッパ 2030/well-being
  - アクションプラン→時代を切り開く力の育成・授業改善
  - 主題(理科・生活科)、若年研、自ら学ぶ研修
  - 個別最適・協働的な学び・ICT活用・指導と評価一体化
  - ダイバーシティ&インクルーシブの視点で
  - 働き方改革→教師を明るく元気に
  - 2学期制と毎月の進度・評価の確認と修正
  - GIGA 端末でキーボード入力を毎日

令和6年度 子どもの目標 **ALLスマイル&ハッピー**

目指す子どもの姿 **「自ら考え、トライ&エラー、みんなでやりとげる」**

- 木の根** 大地の中で根を四方に広げ大樹を支える、土台となる見えない力
- 木の幹** 天空に向かって立ち上がり枝葉を支える、誰もが共通で身に付ける力
- 枝葉** 広がった個々がエネルギーを生み出し、幹に集まりさらに大きな力を生み出す
- 花拓く** 1年を積み重ね6年間のストックが、未来に輝く子どもの力となる



- ミッション**
- 厳しい時代を乗り越える新しい教育
    - ・子の未来のため、親と教師が共に歩む
  - チーム永犬丸
    - ・大きな目的に向かって共に進む集団
  - どこに向かうのか
    - ・未来に求められる力は何か?

- 成果と課題**
- 知的好奇心が高く、自学が盛ん
  - フレンドリーで主体的協働的に楽しむ子ども
  - プロジェクティブ型、トライ&エラーの深化発展
  - 日常の学習で全員の力がついているか
  - 土台となるルールが定着していない

**花拓く** どんな困難にもくじけず、**自らの力**で、たくましく、新しい時代を切り拓く子ども

<p><b>木の根</b> 土台；時を守り、場を清め、礼を正す</p>	<p><b>木の幹</b> 基礎基本；10年先まで、ぶれない軸を育てる</p>	<p><b>枝葉</b> 発展；個別最適な学びと協働的な学び</p>
<p>○【あ・ろ・は・し・い・そ】に全員で取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ→先生からおはようございます・先生から敬語で→子ども扱いしない(×友達)</li> <li>・ろうか→並んで・右側を・静かに(教室・校長室前、階段)・走らず→なぜ注意しないのか</li> <li>・はじめにそろえる→教室で、始まる前に 【時間・提出物・学習用具・名札・靴・傘・机・イス・棚・姿勢・聞く・返事・言葉遣い】→担任の責務</li> <li>・しっばい→挑戦すれば失敗する、失敗した数だけ賢くなる</li> <li>・いのち→命を守る、ケガをしない・いじめのない生活</li> <li>・そうじ→場所に合った人数を割り当て、学期毎に数か月のスパン、掃除の仕方を教える、評価する</li> </ul> <p>出会ってから3日で定着→1日目は楽しく・2日目は求めるものを示し評価          3日目は観察し小さな乱れを許さない→徹底          言って守れない→どうする?→悩む間に乱れ始める→ダメはダメ、でも?!</p>	<p>○10年先まで、ぶれない軸の条件とは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・価値ある共通の目的に向かう</li> <li>・非認知能力、基礎的知識・技能を身に付ける →非認知能力とは：知的的好奇心、忍耐力、自信、協調性など →認知能力の習得が自信になる →えいスポや集会等の子ども主体のプロジェクト等を通して育成</li> <li>・学校が楽しい、困難を乗り越えることが楽しいと思える心を育てる</li> <li>・大きな人→勝ち負けや他人のミスに固執しない、万物への思いやり</li> <li>・読み・書き・計算の習得 →努力してできるようになった自信が非認知能力の育成に役立つ →短時間で何度も繰り返す、教え合い(教師主導でも活動多量) →3人以上の個別指導は無理→全体指導を短く、的確に →何をどのようにすればよいか指示 →先生の説明が1分間超で気を失いかける子がいる</li> <li>・習得は説明ではなく、何度も繰り返して身に付ける(逃がさない)</li> </ul>	<p>○自ら考え、トライ&amp;エラーで、みんなでやりとげる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OODA(ウーダ)ループで一步踏み出し行動できる人に Observe 観察 Orient 状況判断 Decide 意思決定 Act 実行</li> <li>・多様な考えを出す発問(考えることを楽しむ学習にしたい) →答えが一つしかない問いは問いではなくクイズ</li> <li>・個々の体験や経験の活かす事象提示と発問</li> <li>・個別の考えはノートでないと引き出せない(書き方も示す) →個別の考えは教師がどこを見ているか赤で示す→赤で個別に鍛える</li> <li>・個別の考えは、共通・相違の視点で分類、集約して集団の問いにする</li> <li>・作品の掲示より既習内容の掲示→思考に役立つ掲示物 (まとめるときに画用紙に書くなどすれば2度手間にならない) →作品は写真撮らせてデータ化する方法も→他児童が見てコメント →自宅で親も見られる→同じ習字を並べて展示する意味は何か</li> <li>・教科書を教えるのではなく、学ばせたいことがあるから教科書を使う (教科書は使わなければならない一つの資料)</li> <li>・個を磨き、集団を磨き、ループでよりよき人材創り出す</li> </ul>

**TEAM 永犬丸は、厳しい時代を生きる子どもたちを育てる挑戦の学校**

<p><b>価値ある目的に向かう TEAM の一員である誇り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の仕事を楽しむ集団、大きな目標に立ち向かう集団</li> <li>・一人の危機は学校の危機→全員で対応(7年も)</li> <li>・若手と中堅は表で活躍し、ベテランは陰で支える</li> <li>・自己研鑽→サークルや研修会に参加し視野を広げる</li> </ul> <p><b>2学期制の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもをよりよく育てるための2学期制</li> <li>・あゆみ減で生まれる時間を活用した実態把握と補充学習</li> <li>・月末(金)は学年会→進捗と評価の確認→三役への報告</li> </ul>	<p><b>削減できることは何か</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トラブルは事前回避できる(予測と事前策) →楽しい学習、隙間時間ゼロ、自習できる子ども</li> <li>・よいときに保護者とつながる</li> <li>・加減法マシメット→内容は減らさず時間を減らす</li> <li>・定着と育成の違いの認識→どこに時間を使うか</li> <li>・Check は省かない→育てることが削減につながる</li> <li>・時間外月45h年360h以内年休5日以上定時(水)(金)</li> <li>・会議で教師の発言は結論から、レジメ・伝達は短く</li> </ul>	<p><b>危機は起こるもの→事前に回避するというとらえ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8:30までに教室に、健康観察、不明は即時居所把握</li> <li>・怪我・紛失は即経緯把握と管理職保護者連絡(連絡帳×)</li> <li>・怪我の病院行、病気の帰宅は管理職に必ず連絡 →その後の経過に心を寄せる</li> <li>・不登校児童：定期連絡、お祝い、関係機関との連携</li> <li>・安全管理(2月一回)怪我・事故なき環境づくり</li> <li>・アレルギー誤食ゼロ 2重、3重のチェック</li> <li>・調理や火気使用、殿間の森は管理職へ事前連絡</li> <li>・校外学習届は早めに提出</li> </ul>	<p><b>特別な支援に対する考え方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流児童は交流級で可能な限り過ごすことを基本とする</li> <li>・インクルーシブ教育→どんな子も排除されず参加できる学び</li> <li>・否定がアウトな子がいる。長いスパンで待つ育てる</li> <li>・ユニバーサルな環境を整え包括できる教育を</li> </ul> <p><b>教師も間違えることはある</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間違いや失敗を恐れなくてほしい</li> <li>・目的に向かい子どもを個で見守り誠心誠意努めること</li> <li>・次のステージに自信をもって向かえる子どもを育てる</li> </ul>
---	---	--	--